

天然ミネラル補給食に脚光 黒糖と塩など県産品原料に

スポーツミネラル

スポーツミネラル（沖縄市、☎098・930・5589）が手がけるミネラル食品「スポーツミネラル」に話題が集まっている。健康補助食品として県内外の



眞玉橋麻紀社長



好評の「スポーツミネラル」

「スポーツミネラル」は、沖縄の自産ミネラルを豊富に含み、黒糖と塩など県産品原料を使用している。パッケージには、選手たちが活躍する姿が描かれている。同社は、県産品の活用を推進している。

スポーツミネラルは、水分と同時に、ミネラル分を補給する効果がある。熱中症の予防にも効果的である。また、疲労回復にも役立つ。県産品の活用により、地元経済の活性化にも貢献している。

古屋のマスコミで紹介されたからだ。現在では県内高校の野球やバスケットボール、ハンドボール、駅伝、陸上各部の選手たちにも愛飲されているという。内容量2・5gで三方形のシート状のスポーツミネラルは、水やお茶だけで飲んでOK。少量のミネラルが、血液を循環させてくれる。血量の増加にはならない。

同製品は、運動中の2時間をメドに内容量2・5gの1袋分を口に含んで水、お茶などで体内に摂り入れるだけの簡便さも特徴となっている。汗と共に失われた塩分とミネラル、エネルギーの源の糖分を効率よく補う。スポーツ以外にも黒糖の持つ成分により、ジネス、健康・ダイエットなどさまざまな場面で「飲用できるのでは」と同社ではしている。

スポーツ関係者から問い合わせが殺到している。というのもプロ野球団の中ドラゴンズの選手の体調管理に効果が認められ、愛用する選手が増えていると名

を試行錯誤する中、商品登録、特許申請を行い、昨年3月会社を設立した。キャンプ中の中日ドラゴンズにもサンプルを直接持参し、プロのトレーナーも認める製品となり、あまりの反響の高さから当初は手で充填していたのが、追いつかず、不要の中古の機械を導入したが機械性能の低さなどもあって追いつかず、地元のパッケージメーカーなどの協力を得て1日2万パックの量産化にこぎつけ、それでも不足するため増設の検討も行うほど。

スポーツ時に水分を補給することは今や常識。汗をかくと水分が抜けた血液はドロドロになり、疲労蓄積や熱中症の原因となるため、水分を補給することの重要性はいうまでもない。しかし汗と一緒に塩分、ミネラルが体外に出ていき、

インターネットや地元のスーツ店、スーパー、コンビニエンスストアなどで購入でき、今年から本土でも販売が始まったとしている。

2004年6月14日
包装タイムス掲載